

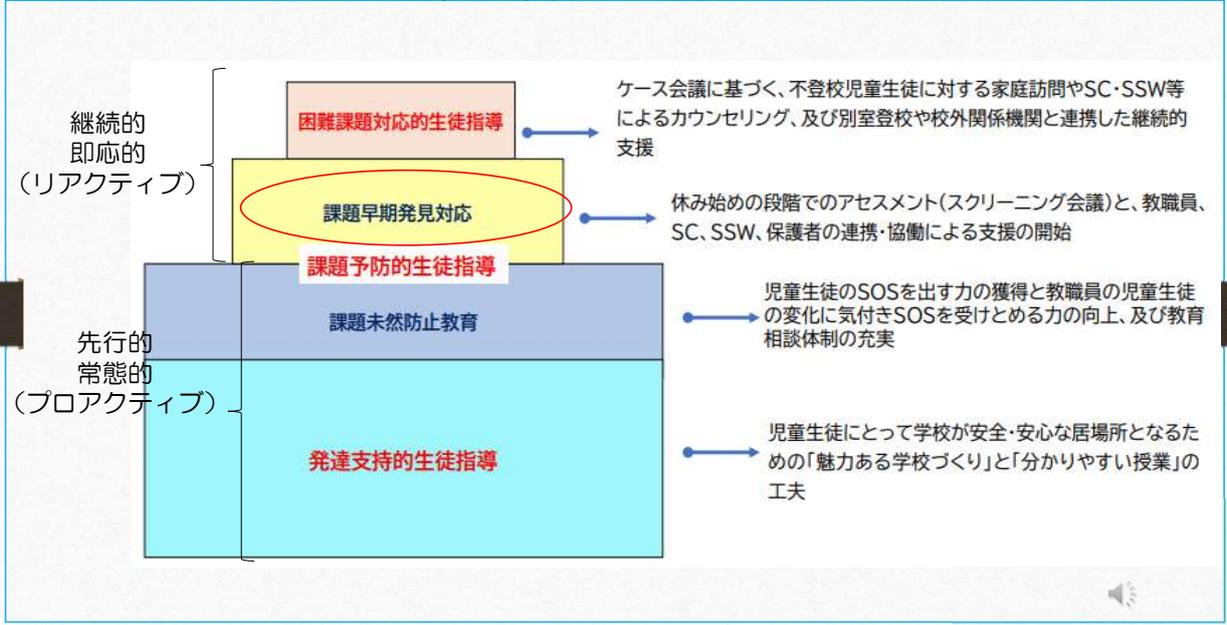
不登校児童生徒への支援③

不登校対策における

課題早期発見対応

シリーズ「不登校児童生徒への支援 パート③（スリー）」
このシリーズでは、不登校に対して学校が取り組んでいくとよいことについて、
シリーズ化しています。
今回は不登校対策における「課題早期発見対応」について学び、考えていきましょう。

不登校対策における課題早期発見対応



令和4年度の生徒指導提要の改定によって、生徒指導の構造の整理が行われました。

この校内研修プログラムでは生徒指導提要の重層的支援構造の考え方に基づいて、具体的な不登校対策としての支援内容を理解、実践できるように構成しています。

今回はここ★

不登校対策としての「課題早期発見対応」をどのように考え、実際の対応をしていけばよいのか皆さんと一緒に考えていきたいと思ひます。

不登校対策における課題早期発見対応

(1) 教職員の受信力の向上と情報共有

ちょっとした変化！
小さな成長！



生徒指導提要では、課題早期発見対応においては、3つの項目をあげて学校が実践していくと良い具体的な内容を示しています。

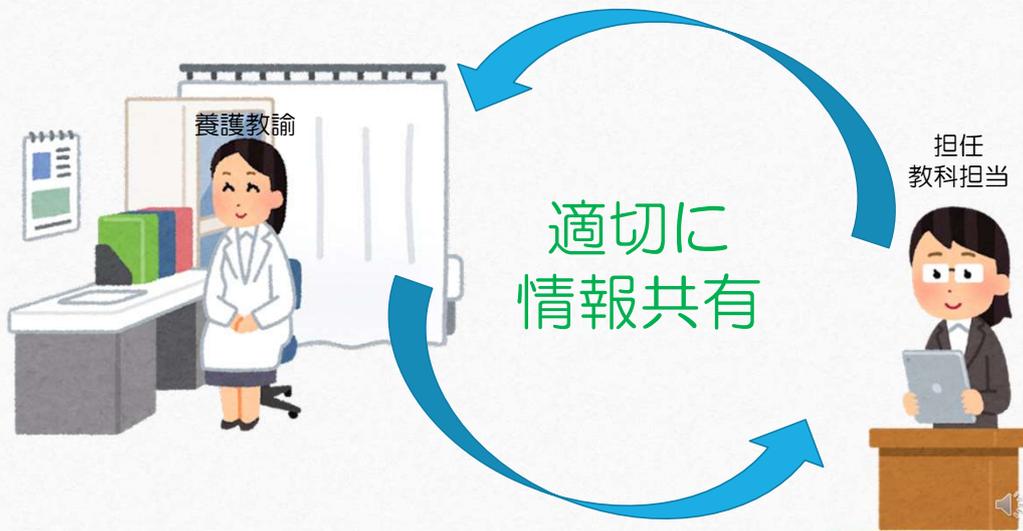
1つは★教職員の受信力の向上と情報共有です。

担任・クラスルーム担当教員は、毎日見ているという強みを生かして、★「ちょっとした変化」や★「小さな成長」に気付くことも可能になります。

友人関係や教職員との関係、学業成績まで、幅広い事項について児童生徒の変化や成長に対するアンテナを高くしておく必要があります。

不登校対策における課題早期発見対応

(2) 保健室、相談室との連携



2つ目は★保健室、相談室との連携です。

担任以外の人たちの方が見えていることもたくさんあります。

★適切に情報を共有することで、心身に不調のある児童生徒を早期に把握し、継続的に休み始める前に関わることが可能になります。

不登校対策における課題早期発見対応

(3) 保護者との日頃からの関係づくり



そして、★3つ目が保護者との日ごろからの関係づくりです。
保護者の話をよく聴くことによって、観察だけでは気づくことができない★家庭
内の変化などの重要な情報も得られるかもしれません。
保護者との間に、不登校児童生徒支援の協力者としての関係を築くことが重要で
す。

島根県教育センターH30～R2 共同研究 成果物

校内研修パッケージ

「保護者と学校のよりよい関係づくり」

- ・令和3年 春
県内の全公立学校に配布
- ・ビデオファイル形式での
校内研修プログラムを
HP上でも提供



島根県教育センターでは、「保護者と学校のよりよい関係づくり」について、校内研修で活用できる動画プログラムを、本プログラムとは別にホームページ上で、公開していますので、そちらも参考にしてください。

不登校対策における課題早期発見対応

(1) 教職員の受信力の向上と情報共有

温かい

(2) 保健室や相談室との連携

まなざし

**大切な
存在**

(3) 保護者との日頃からの関係づくり

★教職員の受信力を高めること、学校内外との情報共有

★保健室や相談室との連携

★保護者との日ごろからの関係づくり

どれも、不登校の予兆を早く感じ取り、早期に発見し、早期に対応していくためには大切にしていきたい視点です。

そして、そのどれもが「日ごろからのよりよい関係づくり」が大切であり、その根底には、

★「相手を温かいまなざしで見る」ことや★「相手を大切な存在と思い、接する」ことが必要でしょう。

不登校対策における課題早期発見対応

★教職員の受信力の向上



3つの視点どれも重要ですが、今回は、教職員の受信力の向上について考えてみましょう。

みなさんは、日頃どんなことに注意しながら、子ども達を理解しようとされていますか？

最近、忘れ物が増えた。急に成績が落ちた。元気がなくなった。などの変化に注目し

★「ん！これは！！」と小さな変化、サインに気づくようにされていると思います。

その背景には、「いじめ」や「虐待」、「ヤングケアラー」、「発達課題」等の課題があるかもしれません。

不登校対策における課題早期発見対応

★教職員の受信力の向上



しかし、子どもの中には、表情が分かりにくかったり、困っていることも分かりにくかったりする子もいます。様々な要因が背景にあっても、友達関係も良好で、問題がなさそうに見えることもあります。

特に、発達の課題があるのに周囲からは、なかなか感じ取ってもらえない子ども・・・

他のことは何でもそつなくできるのに、「うまく形が捉えられない」「読むスピードが周りより時間がかかる」などの気持ちは、なかなか周囲には感じ取りにくいものです。

不登校対策における課題早期発見対応

★教職員の受信力の向上



周りのスピードから大きく遅れるわけでは無いけど、その子にとっては、

★「早くしなくちゃ」とか

★「みんな分かってる」と焦ってしまい、大きなストレスになっていることも考えられます。

それでは、見ること、読むことに課題のある子ども達の困っている気持ちを理解し、受信力を高めるワークを試してみましょう。

不登校対策における課題早期発見対応

ミニ ワーク①

島根県教育センターの特別支援教育の演習より・・・
「読む事の困難さ」の体験演習を活用してみます。

【手順】

- 1 体験演習をやってみる
- 2 どんな気持がしたかシェアリング

題材は、島根県教育センターの演習でも活用している「読む事の困難さ」の体験演習を活用してみます。

手順は「やってみて」「シェアリング」という簡単なものですので、リラックスしてやってみましょう。

途中嫌な気持ちになったり、やめたくなった場合は、演習部分は飛ばして後の解説だけご覧ください。

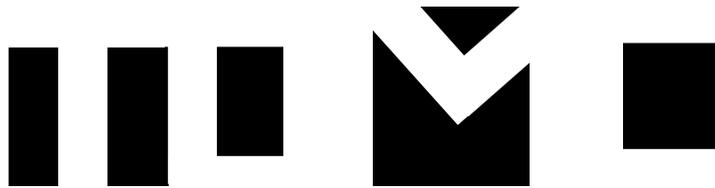
不登校対策における課題早期発見対応

ミニ ワーク①

- ①全員その場に立ってください
- ②これから提示するスライドを見て、
読めた人から座ってください
- ③スライドが消えたら全員着席してください

では、やってみます。
全員その場に立ってください。

これから提示するスライドを見て、読めた人から座ってください。
時間は10秒間です。スライドが消えたら読めなくても全員着席してください。
それでは提示します。



10秒で次のスライドへ



時間です。読めていない人も座ってください。

不登校対策における課題早期発見対応

ミニ ワーク①

いかがでしたか？

「読めた人から座ってください」と言われ、周りが座っていくとき・・・

「スライドが消えて、読めていないのに着席しないといけないとき・・・

どんな気持ちでしたか？

周りの人と話し合ってみましょう **2分間**

いかがでしたでしょうか。

★「読めた人から座ってください」と言われ、周りが座っていくとき・・・

「スライドが消えて、読めていないのに着席しないといけないとき・・・

どんな気持ちでしたか？★

不登校対策における課題早期発見対応

ミニ
ワーク①

いかがでしたか？

動画は一旦停止



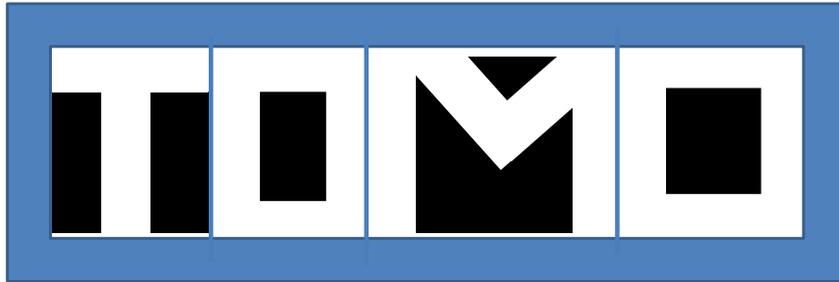
感想を話し合い

「読
が座
「ス
とい
どん

周り
しない

周りの人と話し合ってみましょう 2分間

周りの人と話し合ってみましょう。時間は2分間です。
スライドは一旦停止にしてください。



ありがとうございました。
どんな話が出たでしょうか？
分からなくてもやもやしたかもしれません。

では、少しだけ、支援をしてみましよう。このように枠を置いてみたらどうでしょうか？★
同じように見えていても「その意味を理解すること」が苦手な人もいます。
これは極端な例ですが、もっと当たり前前に考えていることが、ある特定の分野において自分だけ苦手なこともあるかもしれません。

不登校対策における課題早期発見対応

ミニ ワーク②

時間に余裕があれば
もう一つやってみましょう

①文字の変換ルールによって、文を読んでください

これだけです！！

では、変換ルールを次のスライドで提示します。



時間がある場合は、もう一つ演習をやってみましょう。
時間がない場合は、この演習部分は早送りにして、解説部分からご覧ください。
次は、文字の変換ルールによって、問題文を読んで答えるという体験演習です。
では、変換ルールを次のスライドへ提示します。10秒ほど見せますので、変換ルールを覚えてください。
ではいきますよ。

文字の変換ルール

あ⇔お

か⇔や

さ⇔き

た⇔に

は⇔ほ

い⇔こ

く⇔へ

し⇔つ

ね⇔ぬ

わ⇔れ



(10秒測る・・・)

変換させる文字は次の10個です。

「あ」と書かれていたら「お」、「わ」なら「れ」と変換します。逆もありますから、「お」なら「あ」、「れ」なら「わ」と読みます。

50音のうち20個ほどの変換です。他の文字はそのまま読めばいいのですから簡単そうですね。

では、覚えてみてください。

(10秒後・・・)

いいですか？では次の問題文を読んで教えてください。

ぬいとうつとこねのなやでこちぼん
ああさこどうぶしほなおた



どうぞ！！
（10秒後）
難しいですか？
仕方ありません、変換ルールも下に置きましょう。

ぬいとうつとこねのなやでこちぼん
ああさこどうぶしほなおた

あ⇔お

い⇔こ

か⇔や

く⇔へ

さ⇔き

し⇔つ

た⇔に

ね⇔ぬ

は⇔ほ

わ⇔れ



これなら簡単ですね！

(10秒後)

はい！それまで！

不登校対策における課題早期発見対応

それでは・・・
答え合わせです。

ぬいとうつとこねのなやでこちぼん
ああさこどうぶしほなおた

あ⇔お	い⇔こ
か⇔や	く⇔へ
さ⇔き	し⇔つ
た⇔に	ね⇔ぬ
は⇔ほ	わ⇔れ

ネコとウシとイヌの中で
一番大きい動物はなあに



それでは答え合わせです。

「ぬ」は「ね」、「い」は「こ」ですからねこ！

「と」はそのまま「う」もそのまま・・・

と変換しながら読んでいくと・・・

「ねことうしといぬのなかでいちばんおおきいどうぶつはなあに」

となります。★漢字やカタカナが入っていると更に読みやすい

もちろん答えは「うし」ですよね。

不登校対策における課題早期発見対応

ミニ ワーク②

いかがでしたか？

仕方ありません・・・変換ルールも出しましょう

これなら簡単ですね・・・

いかがでしたでしょうか。★

「仕方ありません変換ルール表も出しましょう」と言われたとき・・・★

「これなら簡単ですね」と言われた時・・・★

不登校対策における課題早期発見対応

ミニ
ワーク②

動画は一旦停止



感想を話し合い

どの
また
どん

周りの人と話し合ってみましょう。

どんな気持ちでしたか？

また、このような子どもが学級の中にいたとき、どんな声かけや支援をしますか？

周りの人と話し合ってみましょう。

スライドは一時停止にしてください。時間は2分間です。★

不登校対策における課題早期発見対応



読みにくさや、話しにくさ、計算スピード、相手の思いのわかりにくさなど、その子が抱える困難さは人それぞれです。

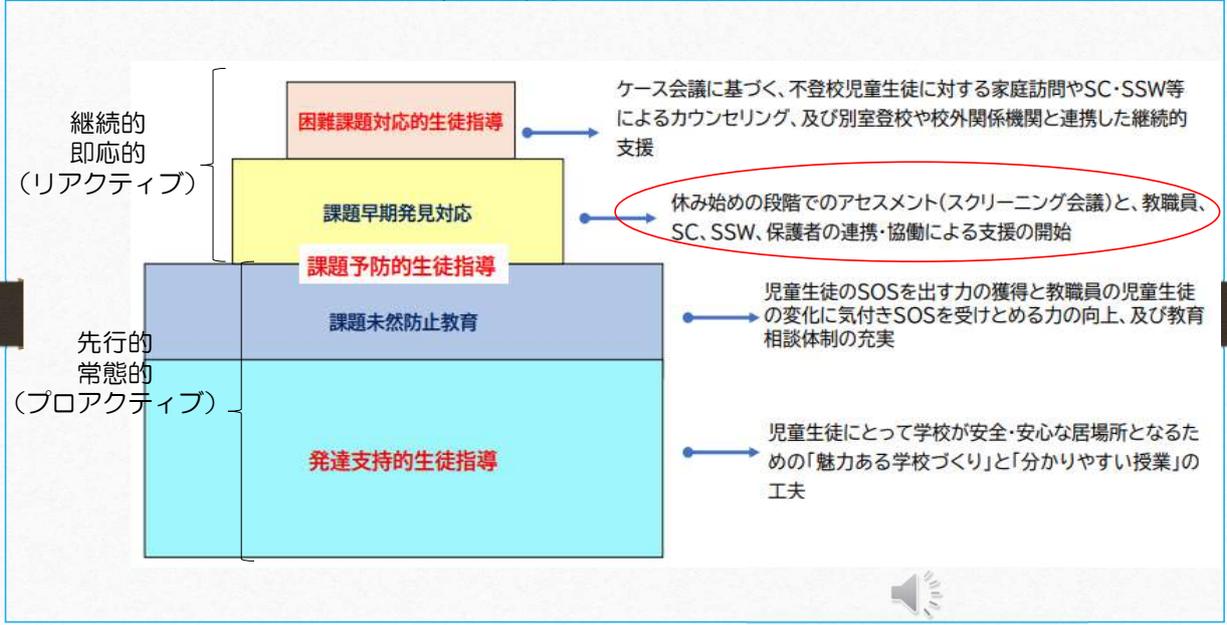
「理解も早く、成績もいいから心配ない」という教師の思い込みや
「この子は問題を解くことが遅いだけで心配ない」という自分のものさしでの判断によって、その子の本来の姿を見失わないようにしていきたいものです。

不登校対策における課題早期発見対応



人は誰でも「わかりたい」「成長したい」という願いを持っている存在です。
私たち教職員は、★温かいまなざしを持ち、★どの子に対しても大切な存在とい
う気持ちを忘れず、
子どもの困っている気持ちに寄り添っていきたいものです。

不登校対策における課題早期発見対応



生徒指導提要には、★特定の曜日に休むとか月に1回程度休むなど、「休みはじめ段階」でのアセスメントや様々な人との連携が大切と書かれています。元気そうに見えていても、その子なりの困難さや心配も抱えているということにいち早く気づき、相手の立場に立って考えられるようにしていくことが大切です。

レッツ チャレンジ！！



今回の研修を一つのきっかけとし、日々の実践の中で積み重ねていかれることを願っています。
以上で「不登校対応における課題早期発見対応」のプログラムを終了します。お疲れ様でした。

不登校児童生徒への支援③

不登校対策における 課題早期発見対応

【参考・引用】

- 生徒指導提要（文部科学省）2022年
- 月刊 学校教育相談 2023 1月号（ほんの森出版）
- 月刊 生徒指導 2022 11, 12月号（学時出版）
- // 2023 1月号
- 島根県教育センター 特別支援教育セクション 出前講座資料

【BGM】

- 甘茶の音楽工房 <https://amachamusic.chagasi.com/>